



「翠」

# 岩崎城だより

No.62  
2023/10/1

## 「岩崎城 菊花大会」

岩崎城では、毎年菊花大会を開催しています。岩崎城の公園内にテントが設置され、市内の方々が手塩にかけて育てた菊の花が展示されます。観覧無料でお楽しみいただけますので、ぜひお散歩がてら秋のお花見にお越しください。  
(期間中 9:00～16:30 まで開場)

## 館長のおはなし



大河ドラマ「どうする家康」は小牧・長久手の戦いが終わりました。岩崎城は地図上に何度か記されていました。さて、小牧・長久手の戦いで落城した岩崎城ですが、岩崎城・丹羽家の歴史が幕を閉じるわけではありません。城主丹羽氏次は関ヶ原の戦いにも参加し、伊保藩の藩主として大名となっています。今回はその氏次の息子氏信と家康最後の戦いである「大坂の陣」について紹介しましょう。

大坂の陣は冬と夏で2回あります。慶長一九(一六一四)年に起こった大坂冬の陣では家康の命で天王寺口に布陣し軍功があつたと伝われます。そして翌年の大坂夏の陣では義父水野勝成みずのかつなりとともに大和口から大坂方面へ進軍。道明寺の戦いでは後藤又兵衛基次を討ち取るきつかけを作る働きをし、さらに翌日進軍した氏信たちは天王寺口南に布陣、突撃してきた明石全登の部隊を打ち破る活躍を見せました。氏信は戦後、その功績により家康から帷子かたびらなどを拝領しました。

徳川家康が天下を取る過程には、様々な家臣たちの働きがあります。丹羽家もですが、歴史の教科書などには登場しない戦国武将たちはたくさんいます。そんな彼らのことを知るのも歴史の面白さではないでしょうか。





# イベント情報

<p>「山城に行こう！2023」 「サムライニンジャフェスティバル 2023」</p>	<p>岩崎城がブース出展します！ぜひお越しください！ ・山城に行こう！11月12日(日) 出展場所:広見地区センター(可児市) ・サムライニンジャフェスティバル 11月19日(日) 出展場所:大高緑地(名古屋市)</p>	
<p>「すごろく作り教室」 11月4日(土)／11月11日(土) 13:30～15:00 申込 10月7日(土)～ 定員 各回10名 参加費 500円</p> 	<p>小牧・長久手の戦いや、日進市の歴史を内容としたすごろく作り教室を開催します。すごろく作りを通して日進市の歴史を楽しみながら学びましょう！ ←お申し込みはこちら</p>	
<p>「チャレンジ！水墨画教室～水墨画の巨匠から学ぶ～」 10月31日(火) 13:30～15:30 【募集期間】 10月3日(火)から 参加費 200円</p>	<p>お城で水墨画を体験してみませんか？水墨画の基礎を学ぶために描かれる四君子の菊をはじめ、水墨画の巨匠の作品から水墨画を学び、水墨画を描きましょう！</p>	
<p>「剣術道場」 1回 30分程度、参加無料・定員なし 雨天中止 月1回程度開催しています。当館ホームページにて日程をお知らせします。</p>	<p>簡単な刀の扱い方、剣舞やポーズを学びます。剣術道場では「岩崎城侍大将への道」カードも配布しています。参加回数でどんどん位が上がり出世していくスタンプカードです！本格的な剣術を習ってみませんか？</p>	
<p>岩崎城菊花写真コンテスト 【募集期間】 10月28日(土)～11月12日(日) 【展示期間】 11月15日(水) ～12月3日(日)</p> 	<p>今年も、第37回日進市菊花大会にあわせて岩崎城菊花写真コンテストを開催します！自分で撮影した大菊やキク科の花の写真を募集します。 ←くわしくはHPをご覧ください！</p>	

ぜひ岩崎城にお越しください！

## 「岩崎城だより」

発行日 2023年10月1日(年4回発行)

編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131

日進市岩崎町市場 67 番地

Tel 0561-73-8825

Fax 0561-74-0046

http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo

### ◆開館時間

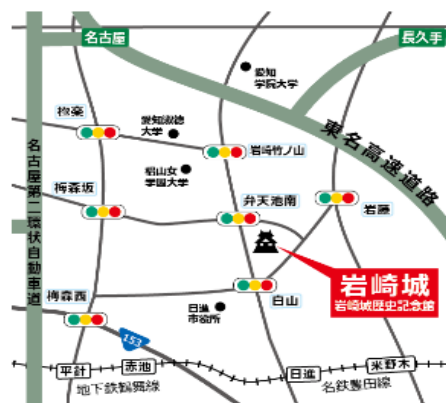
9:00～17:00

### ◆休館日

月曜日

(祝日の場合は開館)

12月28日～1月4日



# 秋の岩崎城

第37回

## 「日進市菊花大会」

今年も菊花大会を開催いたします。岩崎城址公園内に大輪の菊や艶やかな山菊など、様々な種類の菊がそろういます。秋の花・菊をお楽しみください。



■期間 10月28日(土)～11月12日(日)

9時～16時30分 観覧無料

菊花写真コンテストも開催！

詳しくはこちら↓



第37回 日進市  
菊花大会  
10.28 SAT  
▶ 11.12 SUN  
9:00～16:30

お城 DE ジャズ 2023  
10月28日(土)  
10:00～12:00 バンド演奏  
13:00～16:00 ジャズセッション  
午後の演奏料無料。午後の演奏は全て無料となります。  
■ 岩崎城歴史記念館3階

チャレンジ! 水画教室  
10月31日(水)13:30～15:30  
料別 習字用具一式(次第・お楽しみ)  
参加費 200円  
先着20名  
申込 10月3日(日)9:00～予約受付(お電話予約受付のみ)まで  
■ 岩崎城歴史記念館2階

和のミニコンサート  
11月3日(金祝)14:00～15:00  
生田真由乃氏による華のミニコンサートです。  
入場無料。予約不要です。お楽しみにお聴きください。  
■ 岩崎城歴史記念館2階

ミニ菊花大会  
旧市川家住宅  
10月28日(土)～11月12日(日)  
9:00～17:00  
岩崎城を彩る秋の花の展示場が広がります。  
■ 旧市川家住宅(予約無料)

岩崎城歴史記念館  
tel. 0561-73-8825 fax. 0561-74-0046  
観覧時間: 9:00～17:00(観覧料: 大人600円・小人300円)  
休館日: 毎月第1日(祝日・年末年始)  
観覧料: 無料

## 岩崎城歴史講座 小牧・長久手の戦い

### ① 「東美濃の攻防 岩崎城主丹羽氏、 妻木城へ援軍送る」10月15日(日)

天下分け目の合戦として知られる関ヶ原の戦いは、徳川家康と石田三成が激突した本戦だけでなく、全国各地で両陣営に分かれて争いました。東美濃(岐阜県東部)でも両軍の激しい攻防が繰り広げられました。東軍に組した土着の妻木氏と、これを助けた丹羽氏の動向を中心に紹介します。

### ③ 「総論 小牧・長久手の戦い」12月17日(日)

今年度の歴史講座において小牧・長久手の戦いの局所的な部分を紹介しました。そのまとめとして小牧・長久手の戦いはどういう戦なのか解説します。

講座の募集は一回ごとに行います。詳細は当館ウェブサイトや日進市広報にてご案内します。

#### 【募集期間】

- ① 「東美濃の攻防 岩崎城主丹羽氏、妻木城へ援軍送る」  
9月30日(土)から
- ② 「蟹江城と蟹江合戦」11月4日(土)から
- ③ 「総論 小牧・長久手の戦い」12月2日(土)から

### ② 「蟹江城と蟹江合戦」11月23日(木・祝)

天正12年の小牧・長久手の戦いでは、尾張西部の蟹江城でも、両軍の間で激戦が行われました。後世に「蟹江合戦」と伝わるほどの戦いは、なぜ起きたのか。蟹江が舞台となった理由、両軍の作戦と戦いの結末、そして蟹江にまつわる言い伝えなどについて、蟹江町の学芸員が解説します！

各回とも 13:30～15:00

参加費無料 定員30名

市内在住・在勤・在学の方優先  
(市外の方も可)

詳しくは岩崎城ホームページを  
ご覧ください!!





# 岩崎の良話

## 『菊水の瀧とどろぼう』

昔々のこと。岩崎のあちらこちらにどろぼうが入って金や家財道具が盗まれることがありました。村人は相談して夜番をたて、見張りをしたり夜回りしたりしてどろぼうを防ぐことにしました。

ある夜のこと夜番がまわって菊水の瀧をのぞいてみると、何かをこするような音が聞こえてきます。暗い滝壺に近づいてみると、どろぼうが谷川にある平らな石で刃物を研いでいる最中でした。村人はこのどろぼうをみんなで取り押さえたといえます。

菊水の瀧は硬い硅岩けいがんでできており砥石としいしにもなるので、昔はこの石を、刃物を研ぐのに使ったそうです。



菊水の瀧



# 収蔵品紹介

## ◆ 渡辺半蔵家定紋入弓張提灯 ◆

わたなべはんぞうけじようもんいりゆみはりちようちん

米野木村の庄屋であった武田治兵衛が、米野木村の給人きゆうにんであった渡辺半蔵家より拝領はいりようした弓張提灯ゆみはりちようちんです。箱の蓋裏書ふたうらがきには慶応元年の正月から七月

まで屋敷の警固けいごにあたる際に拝領したとあります。武田治兵衛は渡辺家より

苗字帯刀みょうじたいとうが許された人物です。また庄屋である一方で、安政四(一八五七)年か

ら渡辺家より米7俵を頂戴ちやうだいし、渡辺家の家臣に近い形で働いていたようです。本

郷の福岡理兵衛ふくおかりへえ、岩崎の西尾太兵衛にしおたへえも同様に庄屋と渡辺家の家臣を兼ねてい

たことが渡辺家の分限帳ぶんげんちやうに記されています。

給人：幕府・大名から知行地あるはその格式を与えられた旗本・家臣  
分限帳：江戸時代、武士の身分格式、役職、知行俸禄・席次などを詳記した帳簿

## 冬の企画展

「につしんの村々と江戸時代、戦国から江戸へ」

家康が開いた江戸幕府。江戸時代の日進市域はどのような地域であったのか。また戦国武将の末裔たちが関わる出来事を市内の収蔵品を中心に紹介します。

■ 展示期間 12月9日(土)、1月14日(日) 9時、17時

